



東陽の旋風かぜ ～自律協働貢献～

令和7年2月7日（金）No 40 発行
文責：松本 卓也

確かな学力の育成に向けて Part4 ～県・市学力調査編～

11月29日（金）・12月2日（火）に実施しました熊本県および八代市学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。（今回は学力調査です。学習状況調査は次号でお知らせします。）



(1) 学力調査

	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	▼・▼	△・△	▼・▼	▼・▼	▼・△
2年生	△・△	▼・△	△・△	▼・▼	▼・△

※平均正答率に対し
「プラスを△、マイナスを▼」
※左が全国比、右が八代市比

(2) 学力調査結果の推移

	国語	社会	数学	理科	英語
1年生	↑	↑	↓	↓	↓
2年生	↑	↑	↓	↓	↑

※4月調査と比較し、全国比が
上昇している場合は↑
下降している場合は↓で表示

(1) 学力調査の結果から、本校生徒の学習状況は、2年生は、「国語・数学」の2教科は全国平均正答率を上回っている。他の3教科も、全国平均正答率は下回っているものの市平均正答率と同等程度の学力が定着している」、1年生は、「社会は全国、英語は県平均正答率を上回っている。国語・数学・理科の3教科は、全国、県、市の平均正答率をすべて下回っているが、4月調査結果（全国平均正答率）と比較すると、国語（+3.9）で伸びが見られる。」ことがわかりました。

(2) 結果の推移から、前回4月調査結果（全国平均正答率）と比較すると、2年生は国語（+6.6）、社会（+4.7）の2教科で、1年生も国語（+3.9）、社会（+10.1）の2教科で伸びが見られることがわかりました。

これまで東陽小中で取り組んできた「授業改善」および「学習習慣の形成」の効果が明らかになりました。さらに効果を高めるため、授業における学習リーダーの活用および定着確認の徹底の取組に加え、学習に苦手意識を抱いている生徒に対する個に応じた指導・習熟度別指導の拡充に、東陽小学校の先生方と連携しながら取り組んでまいります。1月24日発行の東陽の旋風でもお伝えしましたが、学習習慣（家庭学習の習慣化）の育成には、保護者の方のご協力が不可欠です。ご家庭での学習のようすについて、側面からの支援（ペースメーカー・サポーター・ファシリテーター）を引き続きお願いいたします。※裏面をご覧ください。



toyo寺子屋（習熟度別課題）

県教育委員会作成の「熊本の学び推進プラン」啓発用チラシに、家庭学習チェックリストが掲載されていました。お子様の現在の家庭学習の状況を見直されてみませんか？

【子どもと一緒にチェック】

- 家庭学習について、ルールを決めている
- 机の上は、学習用具だけで集中できる状態になっている
- 正しい姿勢で家庭学習に取り組んでいる
- 家庭学習を、決まった時刻に始めている
- 家庭学習ノートをもとに子どもとのやり取りができている

【保護者がチェック】

- 子どもの家庭学習ノートを見ている
- 子どもの家庭学習ノートで、よくなった点、工夫した点をほめている
- 子どもが家庭学習を継続することを、認め、ほめ、励ましている



今季一番の強い寒気が流れ込んでいます 今後の気象情報にご注意ください

5日（水）、今季一番の強い寒気が流れ込み、県内各地で雪となりました。東陽中でも断続的に雪が降り、お昼過ぎには一面が銀世界に覆われました。見慣れない雪に子どもたちは大喜び！！昼休みには、グラウンドで雪遊びを楽しんでいました。7日（金）から8日（土）にかけて再び強い寒気が流れ込み、平地、山地ともに大雪となるおそれがあります。積雪や路面凍結による交通障害等には、十分ご注意ください。



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）

学習習慣の形成（家庭学習の習慣化）を図るために、以下の取組をご家庭と連携して取り組みます。

